

## 第三支部



# 第三支部だより



第三支部理事 大友 正人

空が澄みすがすがしい秋を感じる頃、ますますご活躍のことと存じます。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となりましたが感染対策のため、支部勉強会をWebにて行いました。多数のご参加をいただきありがとうございました。

親睦行事につきましては感染対策のため、中止とさせていただきます。

川越市健康まつりが4年ぶりの現地開催となり、第三支部でも医療画像展として参加致します。

### 【報告事項】

1. 第1回 第三支部勉強会 (Web)

(ア) 開催日時：2023年7月14日 (金) 18:30～

(イ) 開催場所：Zoomを用いた勉強会

(ウ) 内 容：技師講演2演題

「もう一度学ぼう急性腹症」「高度救命センターってどんな所？」

(エ) 参加人数：63人

2. 第3回第三支部役員会

(ア) 開催日程：2023年7月14日 (金)

(イ) 開催場所：Zoomにて開催

(ウ) 内 容：川越市健康まつりについて

3. 第2回川越市健康まつり実行委員会

(ア) 開催日程：2023年8月23日 (水)

(イ) 開催場所：川越市保健センター 3階

(ウ) 内 容：催し物、会場レイアウトについて

4. 第三支部納涼会 (例年7月頃開催)、ボウリング大会 (例年10月頃開催) は新型コロナウイルス感染対策と致しまして中止とさせていただきます。

### 【今後の予定】

1. 川越市健康まつり実行委員会

(ア) 開催日程：2023年10月26日 (木)

(イ) 開催場所：川越市保健センター 3階

(ウ) 内 容：執務要領、リーフレット、チラシについて

2. 川越市健康まつり

(ア) 開催日時：2023年12月17日 (日) 12:00～

(イ) 開催場所：ウエスタ川越

(ウ) 内 容：医療画像展、医療被ばく相談、放射線画像クイズなど

第三支部の活動の詳細は、ホームページ (<http://saitama3shibu.jimdo.com/>) をご覧ください。

## 第六支部

～Lock on～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言
2. 第1回定期講習会 報告書

## 巻頭言

## 一人旅のススメ

上尾中央総合病院 上原 雅人

新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが5類へと移行後、人々の生活様式や消費行動は徐々に戻りつつある。そうして迎えた夏、観光需要も急速に高まり、国内旅行者数はコロナ禍以前の水準まで回復したという。これまで控えていた地元への帰省や久しぶりに旅行へ出掛けたという方も多いのではないだろうか。

社会人になってからの私の趣味に一人旅がある。一人旅が好きだということ寂しいというイメージをよく持たれるが、決してそんなことはない。見たいものを見て、食べたいものを食べ、やりたいことをやるという自由度の高さが魅力であり、また日常から離れた場所で一人になることで、自分自身と向き合い見つめ直すきっかけにもなっている。

コロナ禍を除いて年に一度は国内を中心に掛けてきたが、特に印象的だったのは瀬戸内海に面し、さまざまな文学や映画の舞台としても知られる広島県の尾道だ。旅先に尾道を選んだ目的の一つがしまなみ海道の走破である。しまなみ海道は本州の広島県・尾道から四国の愛媛県・今治までを結ぶ全長約70kmのサイクリングロードで、自転車で海峡を渡ることができる日本で唯一のスポットとして、国内のみならず海外からも観光客が訪れている。瀬戸内海に浮かぶ6つの島々とそれらを繋ぐ橋を巡る旅路は、アップダウンの連続で何度も心が折れそうになったが、すれ違いや追い越しの際に見ず知らずのサイクリストから掛けられる声援に救われてペダルを漕ぎ続けることができた。そして何より、自転車に乗って海に架かる巨大な橋から見る景色は、筆舌に尽くしがたい雄大なものであった。道中、予定外の寄り道やハプニングといった一人旅の醍醐味もあり走破には約8時間かかったが、達成感と心地よい疲労で満たされていた。

以前のように旅行が可能となった今、ぜひ一人旅に挑戦してみたいだろうか。

## 埼玉県診療放射線技師会第六支部

### 2023年度 第1回定期講習会 報告書

報告者 彩の国東大宮メディカルセンター 小保方 駿

日 時：2023年7月6日（木） 19：00～21：00

会 場：さいたま赤十字病院（2F 多目的ホール）

参加人数：25人+役員

講習会テーマ「一般撮影」

#### 1. 膝関節レントゲン撮影について

彩の国東大宮メディカルセンター 北隅 諒大

膝関節の解剖や撮影方法、正常画像のポイント、再撮影時のポジショニング方法、症例紹介など幅広く講演された。膝関節側面撮影では、内顆の内転筋結節と外顆の切痕像を見ることで膝関節の傾きを把握でき再撮影時の参考となる。膝関節軸位（スカイライン）撮影では大腿骨と脛骨の見分け方、再撮影時の管球角度調整について説明された。また分裂膝蓋骨のSaupe分類や症例画像について述べられた。

#### 2. THA術前に必要な股関節撮影

さいたま赤十字病院 齋藤 尚希

股関節疾患や撮影方法、全人工股関節置換術（THA）について講演された。THA術前計画では涙痕下縁を結ぶ線と小転子の位置から脚長の違いを計測、臼蓋のカップサイズ選択、ステムサイズ、骨切り位置、オフセットの決定など股関節XP画像を用いて計画を行う。改めて撮影した画像の重要性を知る講演であった。

#### 3. 小児撮影

埼玉県立小児医療センター 長嶋 萌葉

小児撮影での固定方法、小児特有の画像所見について講演された。診断に有用な画像を撮影するために重要な体動抑制方法として、物理的固定・視覚的固定・心理的固定について説明された。物理的固定とは固定具や補助台を用いた直接的な固定。視覚的固定とは視覚的興味を用いての固定。心理的固定とは検査に嫌なイメージを与えない工夫である。小児撮影では、患者に合わせた臨機応変な対応が必要であると実感する講演であった。

#### 4. 救急外来での一般撮影 胸部・足関節

上尾中央総合病院 上原 雅人

CVカテーテル・マーゲンチューブ・気管挿管・トロッカーカテーテルなど、処置後撮影の意義やポイントについて講演された。胸部撮影では通常の肺野や縦隔の情報以外にカテーテル先端の位置が重要となるため、処置の意義を知り撮影範囲を決める必要がある。また気胸や足関節骨折の画像所見、撮影方法について新人の診療放射線技師でも理解しやすいようさまざまな画像を用いて説明された。

近年、コロナによりWeb開催が続いていたが、今回の定期講習会は集合型で開催された。さまざまな施設から多くの方に参加していただき、実際に顔を合わせて意見を交えることで賑わいのある講習会となった。